



KIKOREL

iPhone操作マニュアル

BOOK 04 / 募集人・責任者

必要な冊子から、画面を見ながら進める。

対象：Hub 0.11.62／iPhone・iPad 1.0（ビルド53）

作成：2026年10月10日 初版

目次（クリックで移動）

- 02 iPhone画面の入口を覚える
- 03 QRで保存先のHubへ接続する
- 04 新しい面談の情報を入力する
- 05 予定の保存と、面談当日の呼び出し
- 06 顧客へ説明して録音同意を記録
- 07 録音中の確認・説明ガイド・終了
- 08 転送・再送の完了を確認する
- 09 過去履歴と報告書を確認する
- 10 責任者モードで確認・承認する
- 11 iPhoneで困った時

注意・確認

Hub画像は最新版の説明用環境で撮影。端末画像は既存の検証画像（ビルド51または42）で、各図に撮影時期を明記しています。最新版の手順と照合済みですが、最新版端末の全画面を撮り直したものではありません。

iPhone画面の入口を覚える

初めに保存先と本人情報を確認します。デモは実務録音ではありません。



iPhone検証画面：1.0／ビルド51（2026/10/3）。手順は1.0／53のソースと照合。

保存先設定

iPhoneでは右上の黒い保存先アイコン、iPadでは右上の「保存先設定」を開きます。

過去の面談履歴

左上の書類と虫眼鏡のアイコン。保存先にある本人案件の進捗・報告書を確認します。

代理店方針・責任者確認

建物アイコンで方針・読み上げを開きます。責任者権限がある場合は業務モードを切り替えて確認します。

デモ／接続状態

「？」のデモは試用画面です。状態欄の「自動転送は停止中・端末内保存のみ」はHub保存完了を示しません。

注意・確認

画像は未接続の検証状態です。実務前に下記QR接続を済ませ、本人の氏名・ID・所属を確認してください。

QRで保存先のHubへ接続する

契約コードではなく、Hubで発行した端末用QRを読み取ります。

STEP 3

iPhone・iPadを追加

5分・1回限り

接続情報をQRコードで安全に渡します。管理者トークンや端末トークンはQRに含めません。

このHubの接続URL

https://manual-hub.example.invalid

接続URLを自動取得・更新

端末に表示する保存先名

KIKOREL Hub

QRに使用した接続URL: https://manual-hub.example.invalid

この端末を使う人と権限

登録済み利用者の情報を使う (権限は下で確認)

新しい利用者を入力

有効な登録端末の利用者情報を候補に表示します。権限は自動コピーしません。

利用者ID

AGENT-DEMO

利用者氏名

説明用 募集人

所属営業所ID

OFFICE-DEMO

☒ 募集人

☐ 責任者

☐ コンプライアンス担当

☐ システム管理者

募集人は本人案件のみ、責任者は本人案件と管轄営業所、コンプライアンス担当・システム管理者は同じ保存先内の全案件を閲覧します。同じ利用者による自己承認はサーバー側で拒否します。

ベアリングQRを発行



iPhone・iPadで読み取ってください

- KIKORELの「保存先設定」を開く
- 「QRコードで追加」を押す
- このQRコードを読み取る

有効時間 5:00

QRは1台が読み取るか、5分経過すると無効になります。

Hub 0.11.62 / Macで撮影・説明用環境 (2026/10/10)。Windowsは共通UIです。図はPC側。説明用のURL・QRなので読み取らないでください。

1 | 本人用のQRを用意

管理者にHubの「iPhone・iPadを追加」で本人情報・権限を確認してもらい、QRを発行してもらいます。

2 | 端末の保存先設定

「QRコードで保存先を追加」を押し、必要なカメラ許可を確認してQRを読み取ります。5分を過ぎたQRや使用済みQRは再発行します。

3 | 接続を確認

保存先名とURLを確認し「接続を確認」。録音終了後の自動転送設定を確認します。VPN構成の場合は端末も許可されたVPNへ接続します。

注意・確認

同じ人のiPhone・iPadは同じ利用者ID、QRはそれぞれ別に発行します。端末トークンの手入力・共有は通常不要です。

新しい面談の情報を入力する

顧客・面談方法・募集人・場所を確認してから録音説明へ進みます。

0:20

🔍 🏠 KIKOREL ? 📱

🔄 自動転送は停止中・端末内保存のみ >

1 / 3 面談情報

新しい面談

📅 保存した予定 (0件)

👤 顧客情報

顧客氏名 必須

顧客ID

面談方法 必須

対面

オンライン面談

電話

👥 募集人・面談場所

募集人氏名 必須

募集人ID

面談場所 必須

募集人氏名・IDと前回の面談場所は、この端末の次回入力へ自動反映します。各入力欄ではキーボードのマイクから音声入力できます。

KIKOREL 1.0 (51)

1 | 顧客と面談方法

顧客氏名、必要なら顧客IDを入力。対面／オンライン面談／電話を選びます。

2 | 担当者と場所

募集人氏名・ID、面談場所を確認します。利用者の紐づけを変更する場合は管理者へ相談します。

3 | 追加項目・商品

日時・案件ID・回数、年齢・同席者・契約者を必要に応じて開きます。分かっている会社・商品だけ登録します。

4 | 次の画面へ

画面を下へスクロールし「入力内容を確認して録音説明へ」。不足項目の案内があれば修正します。

iPhone検証画面：1.0／ビルド51（2026/10/3）。手順は1.0／53のソースと照合。

注意・確認

面談区分の自動判定が不明な時は「要確認」のまま保持します。商品説明があった面談をヒアリングだけと扱わないでください。

予定の保存と、面談当日の呼び出し

予定の保存は録音開始ではありません。保存結果を確認してから画面を閉じます。

事前入力

予定を保存

当日に読込

内容を確認

録音同意

予定を作る

面談情報を入力し「入力内容を面談予定として保存」を開きます。「現在の入力を保存」または「保存して次を入力」で登録します。

既存予定を修正

「保存した予定」から対象を読み込んで変更し、「選択中の予定を更新」。別の予定を作る時は「別の予定として保存」を使います。

当日に確認

呼び出した顧客・日時・場所・回数を照合し、録音説明へ進みます。別顧客の予定をそのまま使いません。

実機で保存を確かめる

保存後に予定一覧と再起動後の読込を確認します。エラーが出たら未保存として扱い、管理者へ相談します。

注意・確認

予定は端末側の機能です。本マニュアル作成時に最新版での実機永続化試験は行っていません。保存件数の表示だけを保存成功の証明にしないでください。

顧客へ説明して録音同意を記録

登録内容と、録音・文字起こし・証跡報告への利用を顧客に説明します。

15:09

KIKOREL

?

情対応および募集品質の向上のため、この面談の音声を録音します。

- 録音は文字起こしされ、説明内容・ご意向・ご質問等の確認に利用されます。
- 自動判定結果は確認候補であり、法的な違反を自動確定するものではありません。
- 通信障害にかかわらず、録音はこの端末へ暗号化して保存します。
- 録音に同意しない場合は、録音を行わない代替面談記録を作成します。

告知文版：REC-2026.08-BASE 取扱窓口：所属保険代理店の担当窓口

説明内容を確認し、録音・文字起こし・証跡報告への利用に同意します

☐

確認者氏名 必須

架空顧客（改修確認）

☒ 同意を記録して録音開始

[入力へ戻る](#)

通信が切れても録音は端末内部へ30秒単位で暗号化保存されます。

KIKOREL 0.11.17 (42)

検証画面：0.11.17／ビルド42（2026/9/19）。同意操作は1.0／53と照合。

注意・確認

画像の同意スイッチは未選択なので、録音開始ボタンは無効です。担当者が顧客の同意を確認せずにチェックを入れないでください。

1 | 内容を見せて説明

顧客氏名・担当者・面談情報を再確認。画面を顧客に向けて説明文を確認してもらいます。

2 | 同意と確認者

同意が得られた場合だけ同意スイッチを入れ、確認者氏名を照合します。

3 | 録音を開始

「同意を記録して録音開始」を押し、マイク許可が求められたら用途を確認して許可します。

同意がない場合

録音しません。代替面談記録は代理店のルールに従い、顧客との録音と区別します。

録音中の確認・説明ガイド・終了

録音中は端末を双方の声が聞き取れる位置に置き、電源と残容量を確保します。

同意

録音中

最終区間保存

端末内確認

Hub転送

録音開始を確認

画面の録音状態・経過時間・マイク入力を確認します。静かな場所で短い架空録音を再生し、双方の声が聞こえる配置を決めておきます。

説明ガイドを使う

説明・確認を実際に行った時点で該当項目をタップします。チェックは補助記録であり、説明が適切だったことを自動確定しません。

中断に注意

着信・音声中断・要確認の表示が出たら、その時点と対応を記録して管理者へ相談します。未確認の区間をなかったことにしません。

録音を終了

録音終了操作後、未確認項目の案内があれば「録音を続ける」または「未確認を記録して録音を終了」を選びます。最終区間の保存結果を確認します。

注意・確認

このページは最新版の操作仕様による説明です。録音中・終了時の最新端末スクリーンショットは未収録です。実機で着信・長時間録音・再送を確認してください。

転送・再送の完了を確認する

「完全性確認済み」だけでは、Hubへの転送と報告書作成の完了を意味しません。

表示・工程	意味と次の操作
端末内の完全性確認	端末内の保存確認。Hubへの転送状況は別途確認。
保存先への転送・完全性確認済み	Hub側の転送・完全性確認の完了。次は報告書の進捗を確認。
文字起こし・判定・PDF作成済み	保存先の自動処理が完了。原音確認と承認へ。
責任者による電子承認済み	責任者の確認記録が付いた状態。改訂時は再承認が必要。

通信できない時

Hubの起動、VPN、端末の通信を確認します。原音は端末に保持し、「保存先へ再送」や保存先設定の再送状況を確認します。

アプリの終了と再接続

画面ロック・ホームへ戻る場合も転送は継続する仕様ですが、OS制約や通信に依存します。強制終了を避け、次回起動後の再送と完了を確認します。

別Hubへ変更する時

未送信音声を確認してから管理者に相談。前のHub向けの録音を新しい別Hubへ誤送信しないでください。

注意・確認

アプリの削除・初期化・再インストールを先に行うと、未送信原音を失うおそれがあります。無断で端末内データを削除しないでください。

過去履歴と報告書を確認する

端末の履歴は保存先から取得します。接続と本人の閲覧範囲を確認します。

説明用 顧客1 / CASE-MANUAL-001

表示中の報告書を印刷

閉じる

保険面談記録 証跡報告書

案件ID	CASE-MANUAL-001
顧客	説明用 顧客1
募集人	説明用 募集人
記録方法	顧客との面談録音 / 証跡区分A
面談区分・回数	初回ヒアリングのみ / 方法未登録 / 1回目
保険会社・商品	商品提案なし（ヒアリングのみ）
面談日時	2026-10-10T01:00:00Z ~ 2026-10-10T01:03:00Z
文字起こし	未設定 / - / 話者未確定
録音音量	平均 - dBFS / ピーク - dBFS / 小音量 - %
適用方針	未登録
全体判定	黄
原音SHA-256	09acf9a87cb1f730dd514aa8a2fc4d94658dd4931f45c0d9cd438eac014b5617

Hub 0.11.62 / Macで撮影・説明用環境（2026/10/10）。Windowsは共通UIです。図はPC側の同じ報告書です。端末では履歴から開きます。

1 | 過去の面談履歴

左上の書類と虫眼鏡を開き、顧客名・案件ID・担当者・保険会社等で検索します。

2 | 処理状態・音声を確認

受信区間、完全性、工程・エラーを確認。必要な原音を聞き直し、報告書の候補と照合します。

3 | 報告書を開く

対象を選び、概要・根拠・録音時刻・承認欄を確認。訂正が必要ななら「区分・商品を修正」。印刷する場合は印刷アイコンから進みます。

注意・確認

募集人は本人案件の範囲です。報告書の恒久保存は通常の閲覧とは別です。出力・共有時は代理店の個人情報ルールに従ってください。

責任者モードで確認・承認する

責任者権限が設定された端末で、面談担当者本人ではない確認者が処理します。

責任者による電子承認済み

確認方式：authenticated-electronic-approval

確認者：test 確認者ID：0005

確認日時：2026-10-06T06:53:37.488Z

コメント：内容と証拠を確認しました

承認証跡：b194910e34a839ae0fef978e3341f8503478a1c4b40fee226c1779e204105776

2026/10/6のテスト報告書承認結果。これはHub表示で、端末の操作画面ではありません。

1 | 業務モードを切り替え

責任者権限がある場合は「業務モード切替」から「責任者確認」へ進み、承認待ちの対象を選びます。

2 | 候補・報告書・原音を確認

問題候補の理由・根拠・録音時刻を確認し「報告書を開いて確認」。必要な原音・交付書面を照合します。

3 | 処理とコメント

「電子承認する」「顧客再確認を依頼」「募集人へ差し戻す」から選びます。再確認依頼・差し戻しには具体的なコメントを記入します。

注意・確認

自己承認はできません。画面がない場合は管理者へ権限・営業所の設定を確認してください。要確認を残したまま理由なく承認しないでください。

iPhoneで困った時

端末内の原音と未送信区間を保ち、管理者へ状態を伝えます。

症状	対応
QRが読めない	本人用の新しいQRを発行。カメラ許可、5分以内、1回限りを確認。
接続に失敗	Hub起動、契約状態、VPN、URLと本人の登録を確認。
録音開始できない	必須情報、同意、確認者氏名、マイク許可、容量・電池を確認。
転送が完了しない	接続を復旧して再送。端末内録音は消さず、区間数とエラーを記録。
履歴がない	通信、検索条件、利用者ID、閲覧権限、対象の保存先を確認。
責任者モードがない	役割と管轄営業所をHub管理者に確認。
入力欄・ボタンが隠れる	キーボードを閉じ、下へスクロール。iPadは画面サイズ・向きも確認。

注意・確認

販売元へ伝えるのはアプリ版、時刻、状態文、案件ID、操作手順。顧客名・原音・QR・接続トークンは不用意にチャットへ送らないでください。